

課題と方向性

①里地里山に係る自然環境データの充実

課 題	方 向 性
<p>里地里山の生物多様性や管理の状況を把握し、対策を検討するために必要なデータ整備を充実すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 里地里山を把握する基礎的データである植生調査等の自然環境保全基礎調査や、里地里山の生物多様性に大きな影響を与える竹林の侵入状況等を迅速に把握するため、地球観測衛星「だいち」のデータの活用等による速報性の向上を推進。 ○ それらも踏まえ、里地里山の保全再生の取組の進展状況等を全国的観点から把握するための指標等についても検討

②里地里山保全再生の目標像と方策の提示

課 題	方 向 性
<p>各地域における自主的な取組を支援するための目標像や具体的な手法等を提示すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 農林業等を通じて特有の自然環境が維持されている里地里山や、希少な動植物種が生息生育する里地里山など、生物多様性上重要な里地里山を抽出するとともに、その管理・保全に対し、地域を評価し応援していく仕組みを検討。 ○ 管理が行き届かなくなった里地里山における鳥獣との軋轢を軽減するための手法についても、各地の事例を集積。

③地域活性化を通じた里地里山の保全再生

課 題	方 向 性
<p>生業によって行われてきた里地里山の管理を将来にわたって継続するため、地域による自立的管理が可能となる経済性を確保すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 農林業の振興に加えて、地産地消、国産材利用拡大など消費面の対策を含めた農山村の活性化を推進。 ○ 里地里山景観等を対象としたエコツーリズムや循環利用が可能な生物資源としてのバイオマスの利用など、新たな形での資源活用策についても検討。 ○ 人為において維持されてきた里地里山特有の自然環境を、たとえば自然公園など、保護地域制度の中で積極的に評価し支援する仕組みのあり方についても検討。

④里地里山を管理する担い手の確保

課 題	方 向 性
<p>地域における里地里山の管理を支援する都市住民のボランティアなどを確保すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 団塊の世代などを含む、ボランティアの人材登録・派遣とその技術の向上を図るための研修を行う総合的なシステムを検討することが必要。 ○ 定住者を増やすための里地里山でのライフスタイルの提案や、企業や NPO 等の参画を促進するための先進事例の紹介等の情報提供を強化。